

Arcserve® UDP アプライアンス

ハードウェアエラーの

メール通知設定

2023 年 3 月

REV: 1.3

arcserve®

目次

本ガイドの目的.....	1
1. 電源、冷却ファン、温度等の異常通知	2
1.1 BMC ネットワーク設定	2
1.2 BMC の操作（初めてのログインと言語設定、パスワードの変更）	4
1.3 BMC のメール通知設定	6
2. HDD、RAID の障害通知	10
2.1 LSA の起動とメール通知設定（Windows Server 2019 以降の場合）	10
2.2 MSM の起動とメール通知設定（Windows Server 2016 以前の場合）	15
3. BMC および MSM/LSA の監視項目	19
3.1 BMC の監視項目	19
3.2 MSM/LSA の監視項目	19

変更履歴：

- 2016 年 2 月作成
- 2019 年 2 月：SNMP トラップ の通知先 IP アドレスについて注意事項を追加
- 2020 年 2 月：LSA の設定方法を追加
- 2023 年 3 月：Arcserve UDP 9000 シリーズの情報を反映

注意：この資料は 2023 年 3 月 17 日現在の製品をもとに記述しています。

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。

Copyright © 2023 Arcserve, LLC and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.

1. 電源、冷却ファン、温度等の異常通知

Arcserve UDP アプライアンスは、システムボードの管理を行うために OS とは独立してハードウェア障害を監視する管理用コントローラ Baseboard Management Controller（以下 BMC）を搭載しています。本章では BMC を使って電源や冷却ファン、温度等の異常をメール通知する設定の方法を説明します。

1.1 BMC ネットワーク設定

BMC は Arcserve UDP アプライアンス 背面の IPMI 専用ポート（IPMI Dedicated LAN）に接続することで使用できます。IPMI 専用ポートの IP アドレスはデフォルトでは「192.168.1.2/24」に設定されています。以下、BIOS セットアップ画面で IPMI のネットワーク設定を変更する方法を説明します。デフォルトの IP アドレスをそのまま使用する場合は、このページを飛ばして「1.2 BMC の操作」をご覧ください。

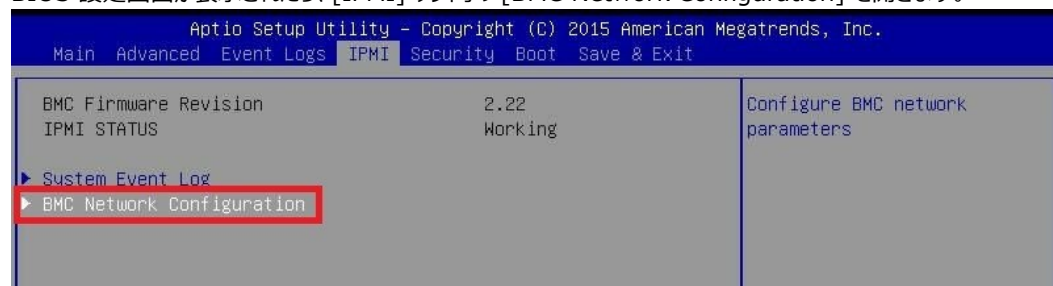
(1) BIOS 画面

Arcserve UDP アプライアンスに電源を入れ、arcserve のロゴが表示される画面でキーボードの [Delete] キーを押下し、BIOS 設定画面に移動します。



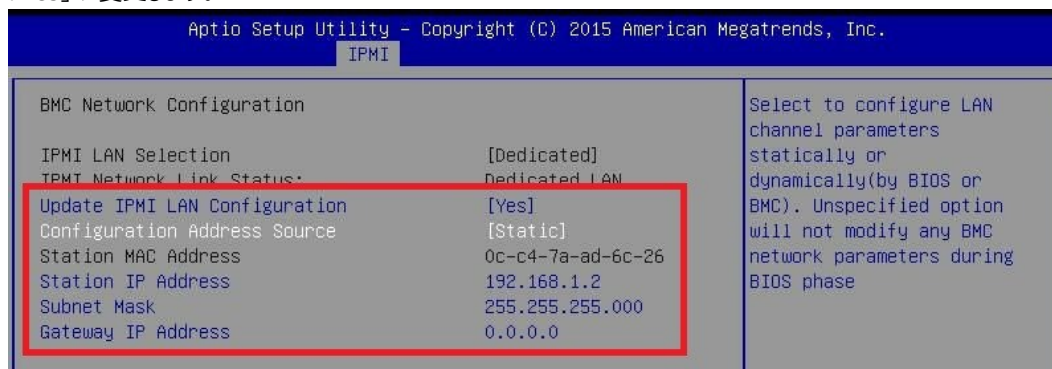
(2) BMC のネットワーク設定

BIOS 設定画面が表示されたら、[IPMI] タブ内の [BMC Network Configuration] を開きます。



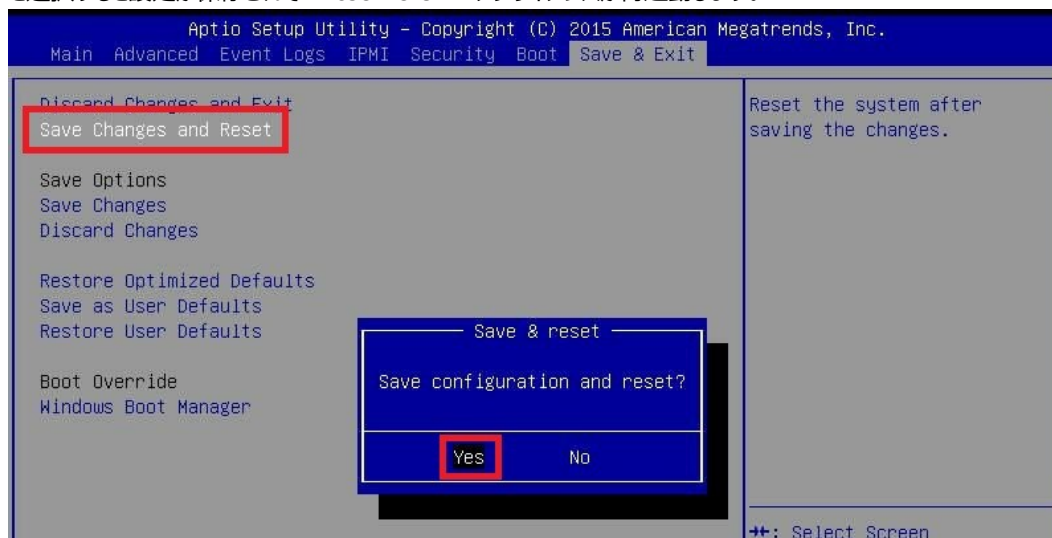
(3) BMC のネットワーク設定

BMC に接続するためのネットワークの設定を変更します。変更が終わったら [Update IPMI LAN Configuration] を「Yes」に変更します。



(4) 設定の保存と再起動

[Save & Exit] タブに移動し、[Save Changes and Reset] を選択します。画面中央にダイアログが表示され、[Yes] を選択すると設定が保存されて Arcserve UDP アプライアンスが再起動します。



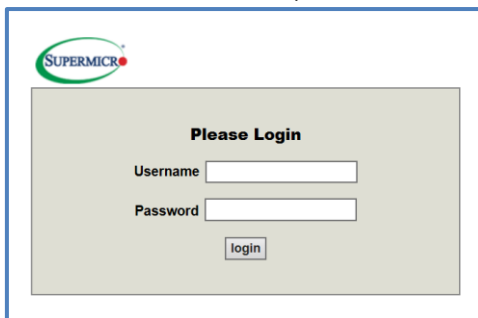
1.2 BMC の操作（初めてのログインと言語設定、パスワードの変更）

(1) ログイン

IPMI 専用ポートと通信できる端末の Web ブラウザから、「1.1 BMC ネットワーク設定」で設定した IP アドレス
 “ <http://XXX.XXX.XXX.XXX/> ” にアクセスすると以下のログイン画面が表示されます。[Username] と
 [Password] に認証情報を入力して [login] ボタンをクリックします。

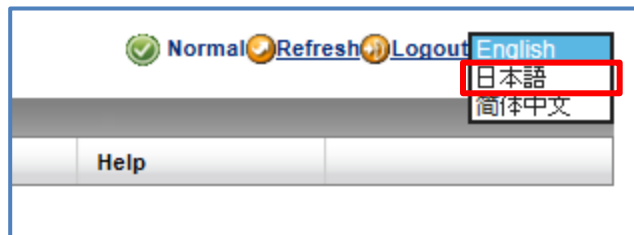
なお、Arcserve UDP 9000 シリーズでのデフォルトのユーザ名/パスワードはそれぞれ「ADMIN/ArcADMIN1」（大文字/小文字を区別します）です。

Arcserve UDP 7000/8000 シリーズでのデフォルトのユーザ名/パスワードはそれぞれ「ADMIN/ARCADMIN」（大文字/小文字を区別します）です。



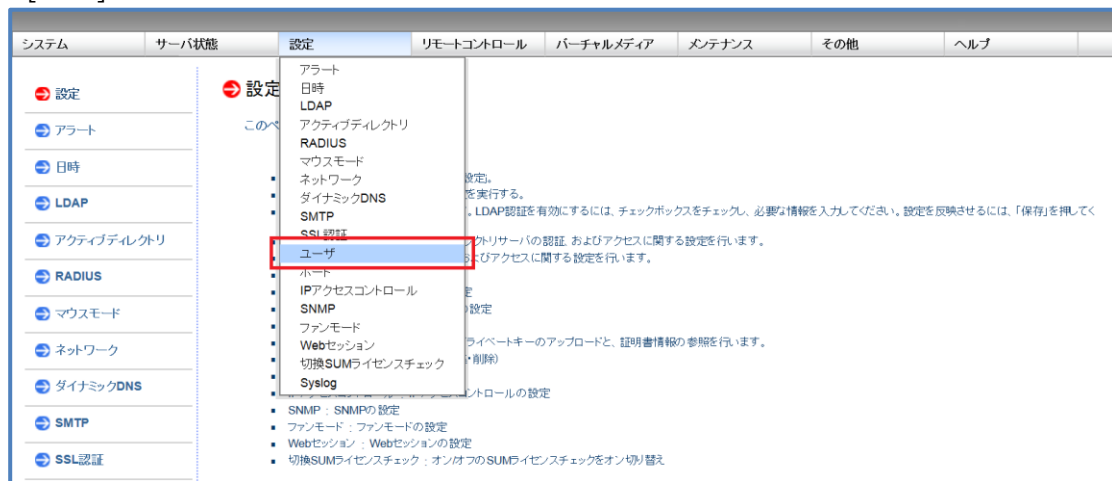
(2) 言語の指定

デフォルトの言語は英語に設定されています。画面右上のドロップダウンリストから [日本語]（または [Japanese]）を選択します。



(3) 管理者パスワードの変更

はじめて BMC にログインする場合は、必ず管理者ユーザのパスワードを変更してください。画面上部のメニューから [設定] - [ユーザ] を開きます。



(4) 管理者パスワードの変更

ユーザリストから「ADMIN」を選択し、[ユーザの変更] ボタンをクリックします。



システム サーバ状態 設定 リモートコントロール バーチャルメディア メンテナンス その他 ヘルプ

設定 ユーザリスト

ユーザの管理 (追加・編集・削除)

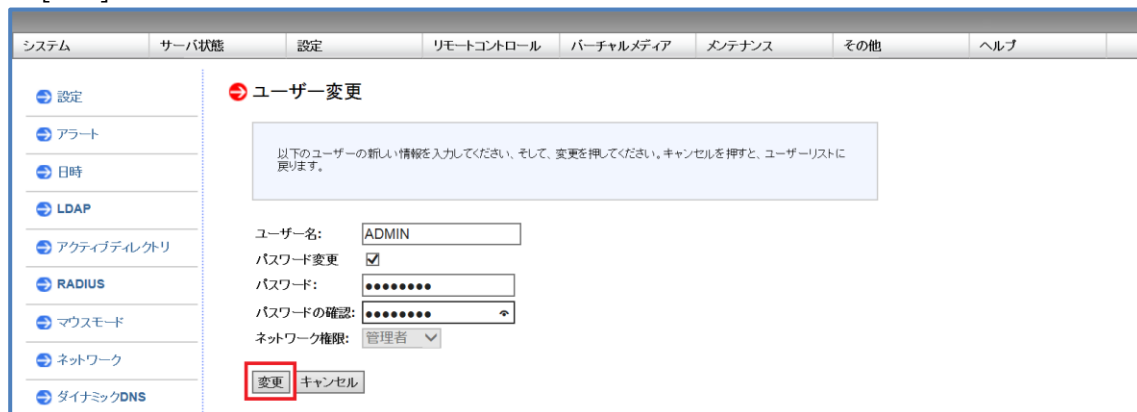
ユーザ登録番号: 10

User ID	User Name	Network Privilege
1	Anonymous	Reserved
2	ADMIN	Administrator
3	~	Reserved
4	~	Reserved
5	~	Reserved
6	~	Reserved
7	~	Reserved
8	~	Reserved
9	~	Reserved
10	~	Reserved

ユーザの追加 **ユーザの変更** ユーザの削除

(5) 管理者パスワードの変更

[パスワード変更] チェック ボックスにチェックを入れ、新しいパスワードを [パスワード] および [パスワードの確認] に入力したら、[変更] ボタンをクリックします。パスワードの変更が反映されます。



システム サーバ状態 設定 リモートコントロール バーチャルメディア メンテナンス その他 ヘルプ

設定 ユーザー変更

以下のユーザーの新しい情報を入力してください。そして、変更を押してください。キャンセルを押すと、ユーザーリストに戻ります。

ユーザー名: ADMIN

パスワード変更: ☒

パスワード:

パスワードの確認:

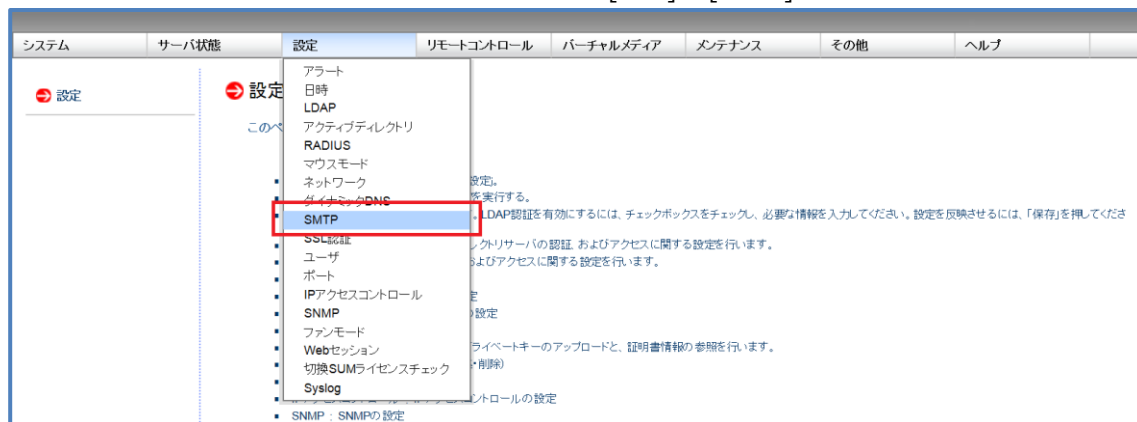
ネットワーク権限: 管理者

変更 キャンセル

1.3 BMC のメール通知設定

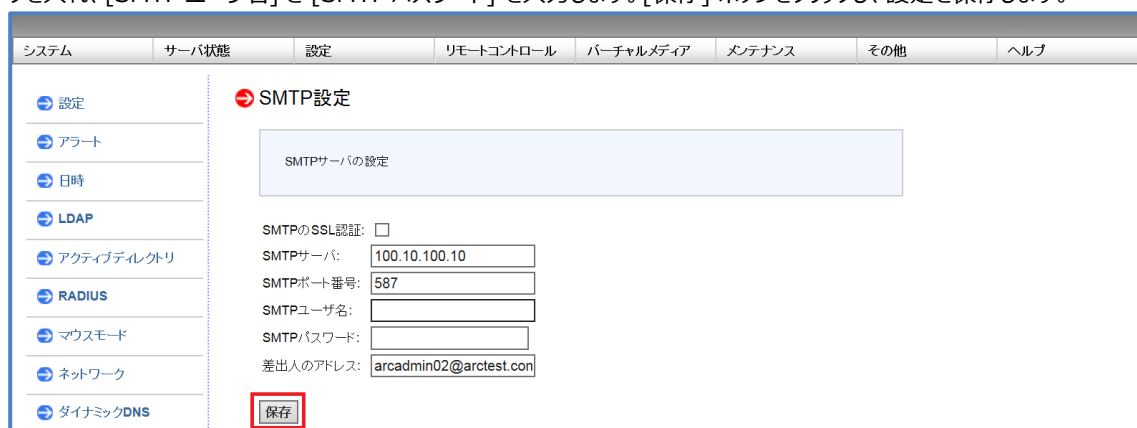
(1) [SMTP] の設定

SMTP サーバ（メール サーバ）の設定を行います。メニューから [設定] - [SMTP] を開きます。



(2) [SMTP] サーバの設定

[SMTP サーバ] に SMTP サーバの IP アドレスを、[SMTP ポート番号] にポート番号を、[差出人のアドレス] に通知メールの送信元になるメールアドレスをそれぞれ入力します。また、必要に応じて [SMTP の SSL 認証] チェック ボックスにチェックを入れ、[SMTP ユーザ名] と [SMTP パスワード] を入力します。[保存] ボタンをクリックし、設定を保存します。



(3) [アラート] の設定

次にアラートの設定を行います。メニューから [設定] - [アラート] を開きます。



(4) [アラート] の設定

アラートリストから、エントリ（行）を選択し、[変更] ボタンをクリックします。



(5) [アラート] の設定

アラート関連の各設定値を選択および入力します。

[イベントの重要性レベル] ドロップ ダウン リストには重要度の順に「Non-recoverable」、「Critical」、「Warning」、「Informational」、「すべてを無効にする」があります。たとえば、「Critical」を選択すると Critical レベル以上のイベントを通知します。

[送信先 IP] は SNMP トラップの送信先です。メール送信には関係がありませんので、本ガイドでは設定しません。なお、SNMP トラップを使用する場合は、Alert No.2 以降のエントリを使用してください。Alert No.1 に設定された [送信先 IP] の値は、すべての電源ケーブルを外すと初期値「000.000.000.000」に戻る仕様となっています。

[メールアドレス] に通知メールの送信先になるメールアドレスを入力します。

[主題] および [メッセージ] は、ASCII コード（英字）でメール件名と本文を設定できます。それぞれのデフォルトは「NULL」です。デフォルトの場合メールの件名は「BMC alert」になります。

[保存] をクリックし、設定を保存します。

警告の変更

下記に警告用の情報を入力してから、保存を押します。

イベントの重要性レベル: Critical

送信先IP: 000.000.000.000

メールアドレス: arcadmin01@arctest.com

主題: NULL

メッセージ: NULL

保存 キャンセル

(6) [アラート] の設定

変更が反映したエントリを選択して [テスト メッセージの送信] をクリックし、メールが送信されることを確認します。

アラートリスト

アラートメッセージを送信する設定

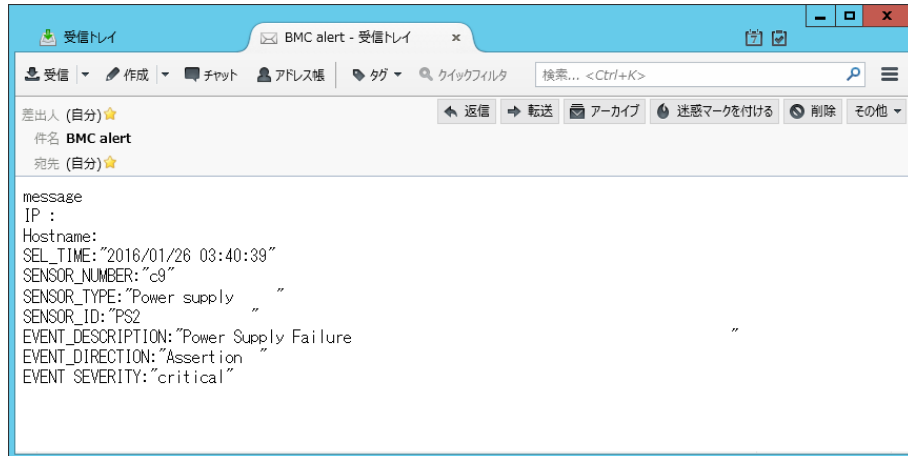
アラートテーブル: 16 エントリ

Alert No.	Alert Level	Destination Address
1	Criticalレベル以上	000.000.000.000 & arcadmin01@arctest.com
2	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL
3	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL
4	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL
5	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL
6	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL
7	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL
8	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL
9	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL
10	すべてを無効にする	000.000.000.000 & NULL

変更 テストメッセージを送信 削除

(サンプル)

以下は、人為的に電源ケーブルを抜いた際に通知されたメールです。



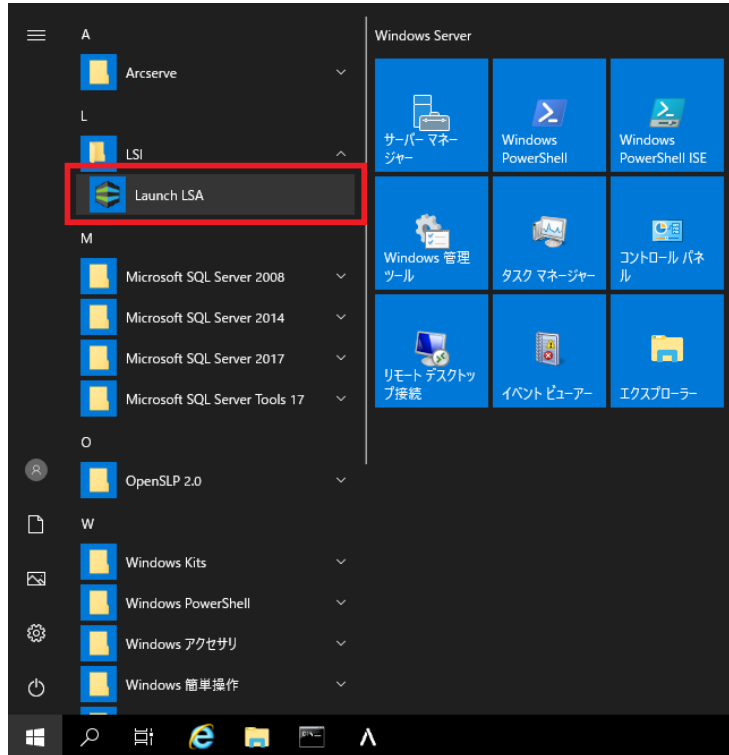
2. HDD、RAID の障害通知

Arcserve UDP アプライアンスでは RAID の管理ツールである LSI Storage Authority（以下 LSA）または MegaRAID Storage Manager（以下 MSM）を利用して、HDD や RAID の状態を監視できます。この章では Arcserve UDP アプライアンスにプリインストールされた LSA/MSM を使用し、SMTP でメール通知を行う設定の手順を説明します。

2.1 LSA の起動とメール通知設定（Windows Server 2019 以降の場合）

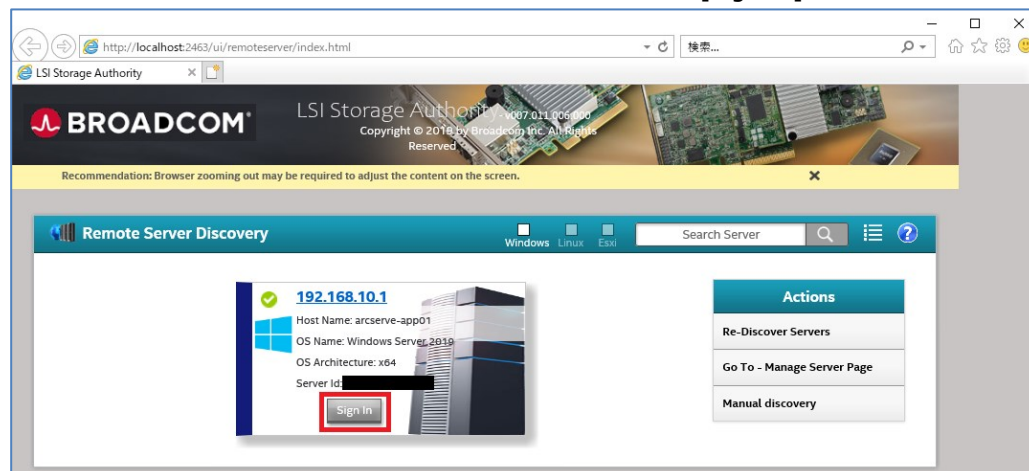
(1) LSA の起動

Arcserve UDP アプライアンスの Windows の [スタート] メニューから、[LSA] - [Launch LSA] をクリックします。



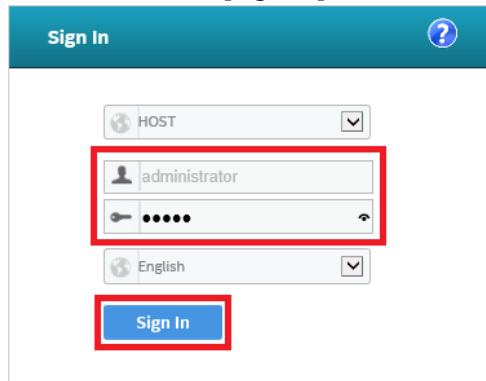
(2) サーバの指定

サーバの指定画面が表示されます。検出されたサーバにカーソルを合わせ、[Sign In] をクリックします。



(3) サインイン

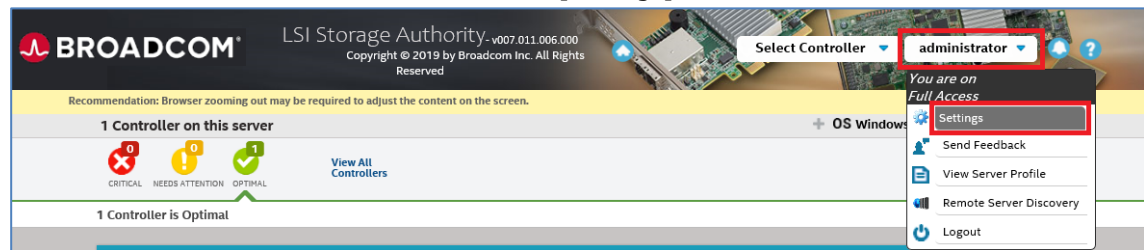
[Username] に Arcserve UDP アプライアンスにログインするための管理者権限を持つユーザ、[Password] にそのユーザのパスワード入力し、[Sign In] ボタンをクリックします。



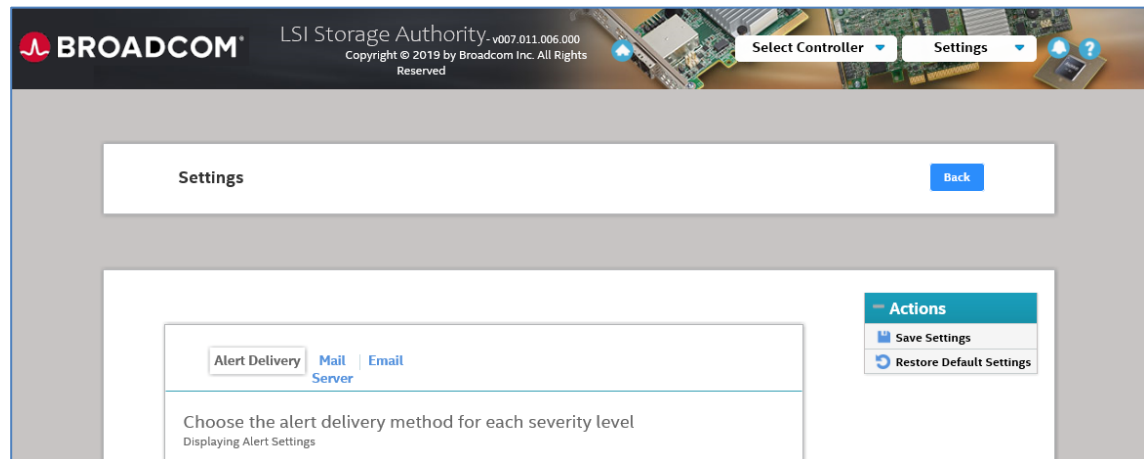
The image shows the 'Sign In' screen of the Arcserve UDP Appliance. It features a teal header with the text 'Sign In' and a help icon. Below the header, there are four input fields: 'HOST' (a dropdown menu), 'Username' (containing 'administrator'), 'Password' (masked with dots), and 'Language' (a dropdown menu set to 'English'). A red rectangular box highlights the 'Username' and 'Password' fields. At the bottom, there is a blue 'Sign In' button, also highlighted with a red rectangular box.

(4) 設定画面の表示

画面右上のユーザ名をクリックすると表示されるメニューから [Settings] をクリックします。



通知の設定画面が表示されます。



(5) アラートの設定

[Alert Delivery] タブで重大度 (severity level) に応じた通知の設定を行ないます。重大度は高いものから順に「Fatal」、「Critical」、「Needs Attention」、「Information」の 4 種類があります。デフォルトでは、メールの通知は「Fatal」レベルでのみ送信される設定になっています。必要に応じて、通知を有効にしたい重大度の [Email] チェックボックスにチェックを入れます。

Alert Delivery Mail Email Server

Choose the alert delivery method for each severity level
Displaying Alert Settings

Fatal - when a component fails and data loss occurs
Within Application ☒ System Log ☒ Event Log ☒ System Messages
Outside Application ☒ Email
Critical - when a component fails
Within Application ☒ System Log ☒ Event Log ☒ System Messages
Outside Application ☐ Email
Needs Attention - when a component is close to Failure point
Within Application ☒ System Log ☒ Event Log ☐ System Messages
Outside Application ☐ Email
Information - informational message where no user action is necessary
Within Application ☒ System Log ☒ Event Log ☐ System Messages
Outside Application ☐ Email

(6) メール サーバの設定

次に、[Mail Server] タブをクリックします。[Sender Email Address] に差出人のメールアドレス、[SMTP Server] にメールサーバの IP アドレスを、[Port] に受信ポート番号を入力します。メールサーバで SMTP 認証が有効な場合は [This server requires authentication] チェック ボックスにチェックを入れ、[User Name] および [Password] に認証のためのユーザ名/パスワードを入力します。

Alert Delivery Mail Server Email

Provide mail and server settings from which the application will send alert notifications.
Displaying current mail server settings

Sender Email Address	SMTP Server
lsa-monitor@server.com	127.0.0.1
Port 25 ☒ Use Default	
For server authentication, please provide the following <i>(optional depending upon the server settings)</i>	
☐ This server requires authentication	
User Name	Password

(7) メール設定

最後に [Email] タブをクリックします。[Add Email Address] に通知メールの送信先のメールアドレスを入力し、[Add] ボタンをクリックします。

Alert Delivery | Mail Server | **Email**

Provide email addresses to which the email alert notifications will be sent.
Displaying current email settings

Add Email Address

test@example.com x **Add**

Email alerts will be sent to the following email ids

☐ root@localhost **Remove**

Test Configuration

あらかじめ用意されている「root@localhost」は削除して下さい。メールアドレス左側のチェックボックスにチェックを入れて [Remove] ボタンをクリックします。

Add Email Address

Add

Email alerts will be sent to the following email ids

☐ test@example.com **Remove**

☒ root@localhost

Test Configuration

[Test Configuration] ボタンをクリックするとテスト メールを送信できます。

Add Email Address

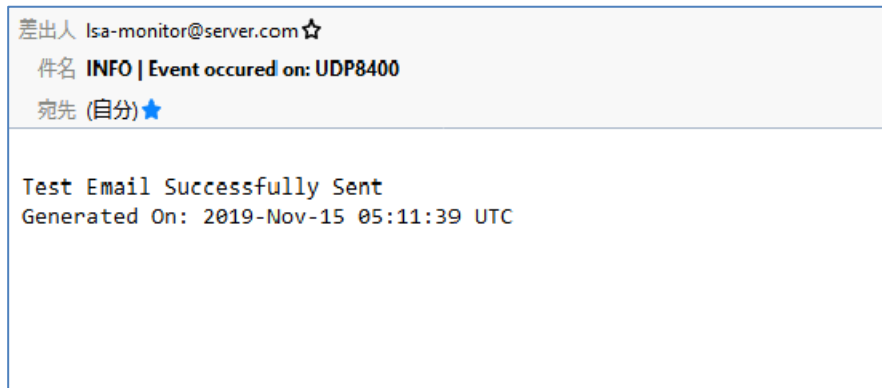
Add

Email alerts will be sent to the following email ids

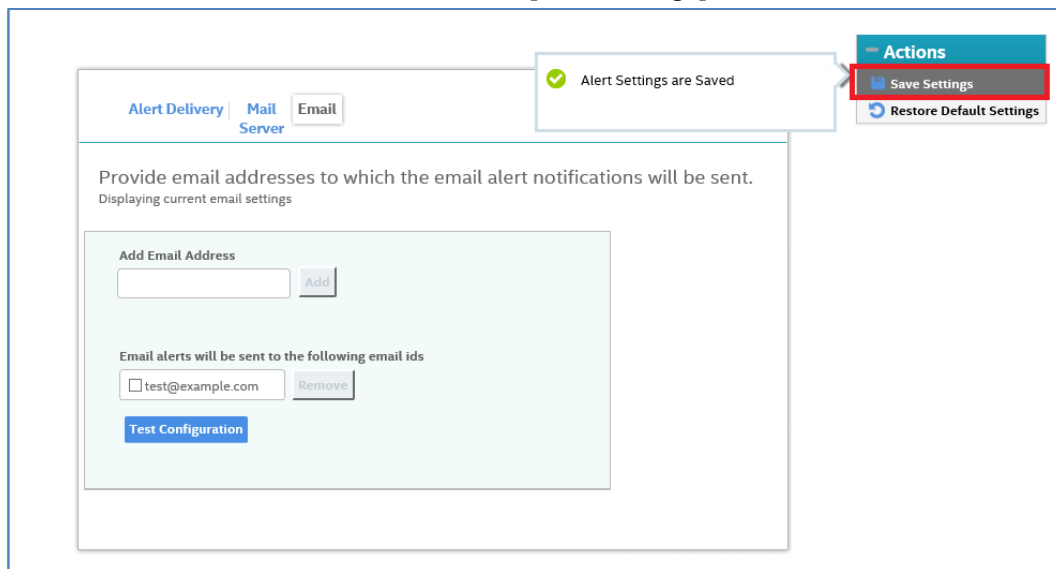
☐ test@example.com **Remove**

Test Configuration

以下のようなテスト メールが送信されます。



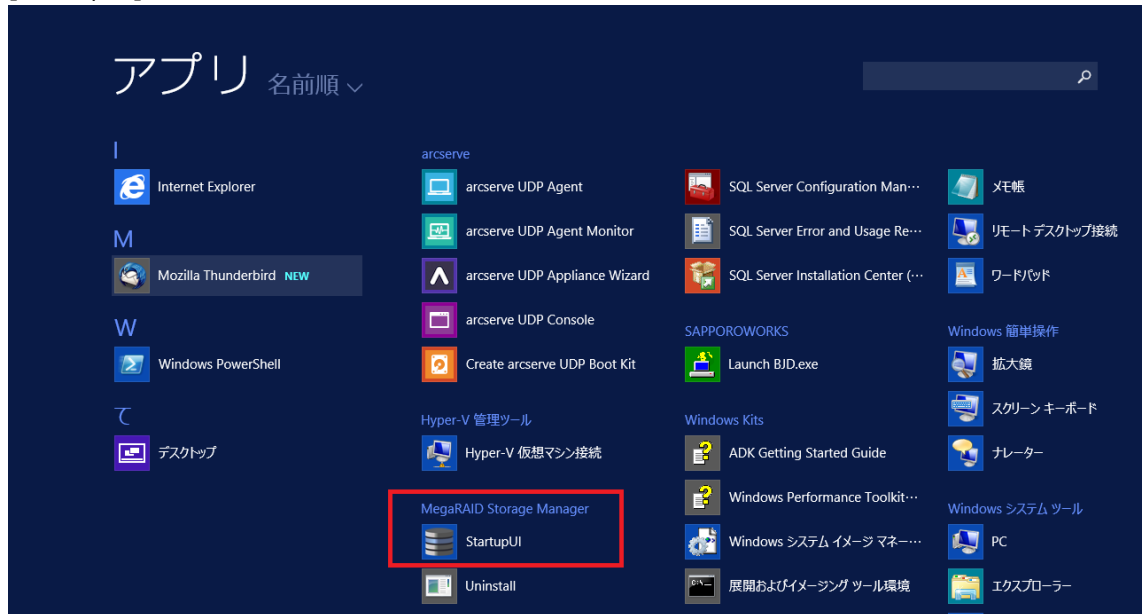
正しくメールが送信できることを確認したら、画面右側の [Save Settings] をクリックして設定を保存します。



2.2 MSM の起動とメール通知設定 (Windows Server 2016 以前の場合)

(1) MSM の起動

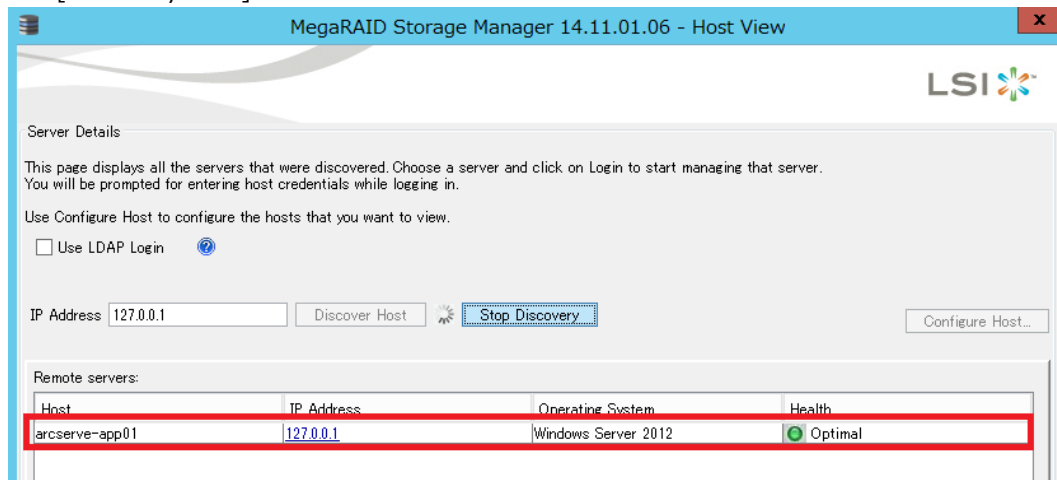
Arcserve UDP アプライアンスの Windows の [スタート] メニューから、[MegaRAID Storage Manager] – [StartupUI] を起動します。



(2) サーバの指定

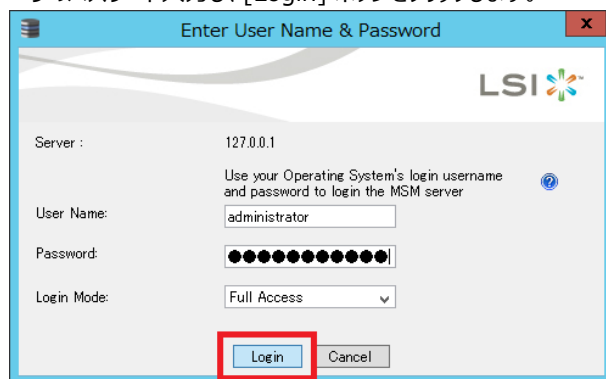
サーバの指定画面が表示されます。検出されたサーバをクリックします。

※ 検出が自動的に行われない場合、[IP Address] に Arcserve UDP アプライアンスの IP アドレスを入力し、[Discovery Host] ボタンをクリックします。



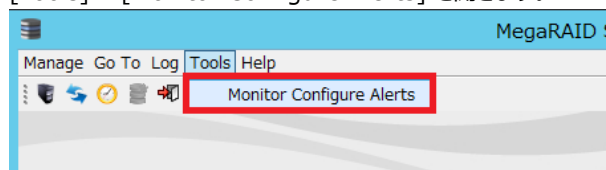
(3) ログイン

[User Name] に Arcserve UDP アプライアンスにログインするための管理者権限を持つユーザ、[Password] にそのユーザのパスワード入力し、[Login] ボタンをクリックします。



(4) [Monitor Configure Alerts] の起動

[Tools] – [Monitor Configure Alerts] を開きます。



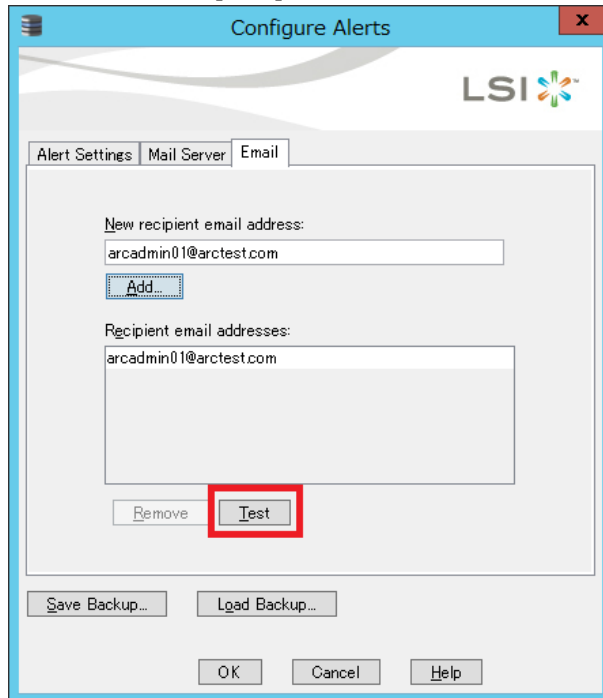
(5) メール サーバの設定

[Configure Alerts] 画面から [Mail Server] タブを選択します。[Sender email address] に差出人のメールアドレス、[SMTP Server] にメールサーバの IP アドレスを入力します。必要に応じて [This server requires authentication] チェック ボックスにチェックを入れ、[User name] および [Password] に認証のためのユーザ名/パスワードを入力します。

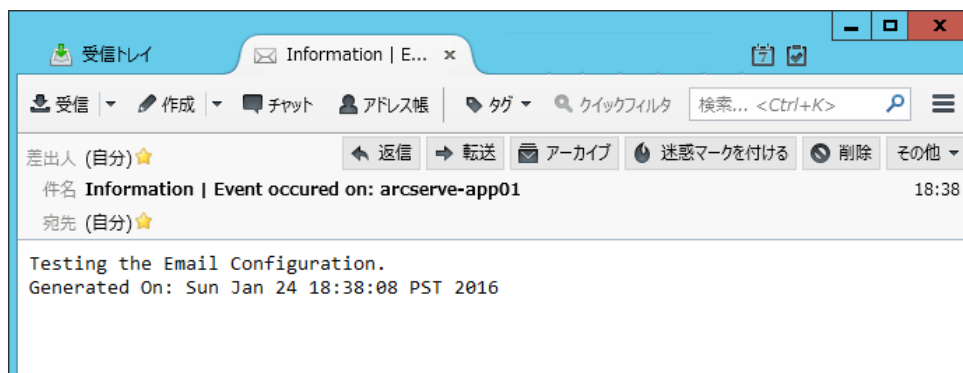
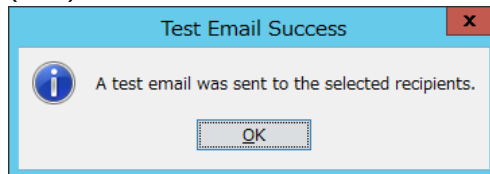


(6) メール設定

[Email] タブをクリックし、[New recipient email address] に通知メールの送信先のメールアドレスを入力し、[Add] ボタンをクリックします。[Test] ボタンをクリックするとテスト メールを送信できます。

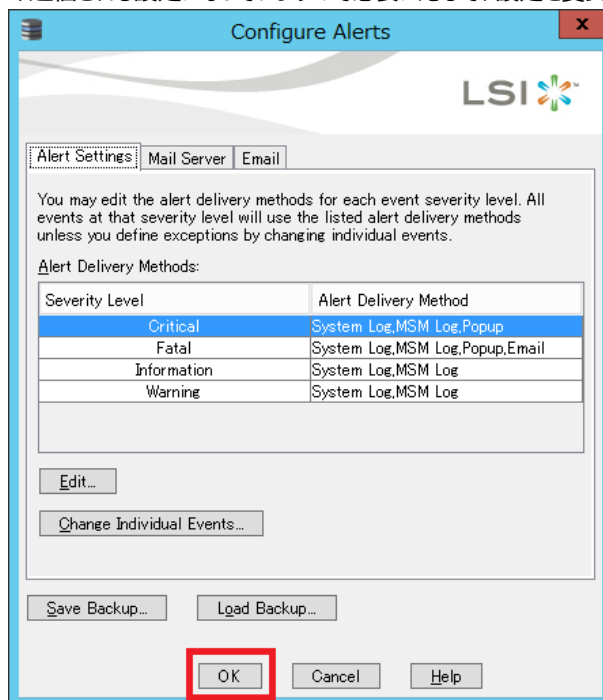


(参考) 設定が正しい場合、テストメール配信成功のメッセージが出力され、以下のような内容のテストメールが届きます。



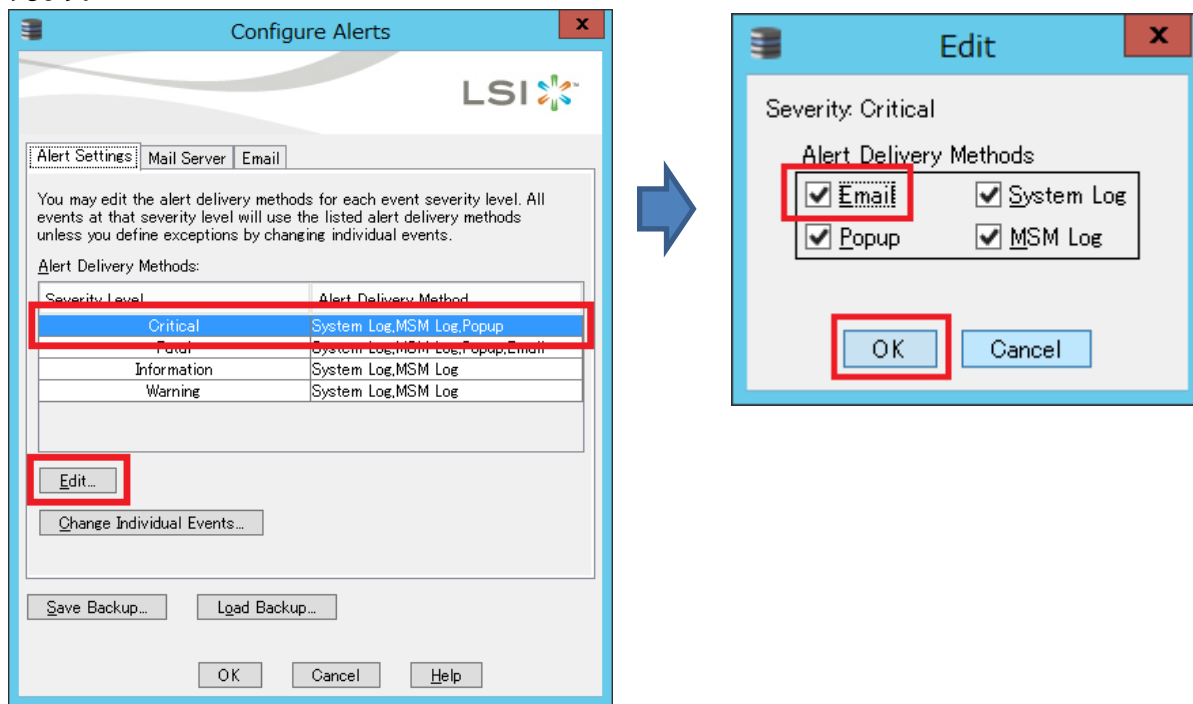
(7) アラートの設定

[Alert Settings] タブをクリックします。通知のレベル (Severity Level) はメッセージの重要度の順に、「Fatal」、「Critical」、「Warning」、「Information」の4種類があります。デフォルト設定では、メールの通知は「Fatal」レベルのみ送信される設定になっていますので必要に応じて、設定を変更し、[OK] をクリックします。



(参考) このガイドでは、[Critical] に Email を追加する手順を記載します。

[Critical] を選択し、[Edit] ボタンをクリックします。表示された [Edit] 画面で [Email] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。



3. BMC および MSM/LSA の監視項目

BMC および MSM、LSA ではそれぞれ以下の項目を監視します。

3.1 BMC の監視項目

温度	CPU、メモリ、マザーボード、周辺装置等の温度を監視します。
電圧	CPU、12V、5VCC 等の電圧を監視します。
冷却ファン	内部冷却ファンの回転数を監視します。
カバー開閉	本体天板が解放されていないか監視します。
電源	電源ユニットの状態を監視します。

3.2 MSM/LSA の監視項目

HDD	それぞれの状態に異常がないか監視します。
RAID コントローラ	
RAID 状態	